和昭26年 4月15日（日曜日）第269號　　磐城毎日新聞　　第三種郵便物認可（一）（昭和二十五年十二月第621）（國鐵新聞郵便特別扱認可）

磐城毎日

社長　大和田與兵衛
發行所　福島縣平市15丁目12番地
株式會社　磐城毎日新聞社
編集兼印刷人　遠藤孝倫
發行人　遠藤孝倫
電話（平）一二〇番
定價 1ヶ月50円 1部2円
【夕刊・月曜休刊】

迎歡稿投

平市の候補者確定

市議候補者は五八名

平市に於ける地方選擧は去る三日の告示以來熱戰を開始し十三日の立候補届締め切り期日を中心として中盤戰に入り熱戰を展開しているが愈々立候補締め切りによつて市長候補二名、市部選出縣議候補二名、市議候補五十八名（定員三十名）で次の如く確定した（届出順）

△平市長　鈴木辰三郎（七三）無前、平市四丁目三十一　磐城高卒、代議二期、縣議等歷任

△縣議定員（二名）

馬目武之助（六〇）自由黨現　染色業、平市五丁目、現縣議、前市議

佐藤源吉（五三）自由黨、新鐵工業、平市月見町、前市議

△市會議員

荒川千代造51　無新　酒卸組長
鹽庄造50　無現　國鐵表演說は各會場共滿員の盛況を呈し市民に深い感銘を與え反對派のデマ宣傳を粉砕しつゝあるが十三日午後七時より開催した、一丁目よりの日程及會場は次の通りで何れも午後七時から開演する

△十四日第一會場中平窪、松本金市郎氏宅、第二會場、上平窪公民館

△十五日第一會場南町、産婆學校、第二會場七丁目熱心湯、第三會場二目丁ヤンマー商會

△十六日第一會場久保町、泉藏院、第二會場堂ノ前鈴木源七宅、第三會場紺屋町、ミカサ食堂

町村議 町村長 候補者八二三名

無競走は山田、錦、澤渡三町村

平保健所主唱で

美化運動實施 要項なる

平市に於ける地方選擧の立候補届は十三日午後五時を以て締切つたが石城地方事務所管内の各町村を見るに、町長候補は社會黨一名共産黨一名無所屬四十四名で計四十六名、無競爭確定町村は山田、錦澤渡三坂の三町村町村議候補は社會黨三十六名、共産黨十二名、諸派二名無所屬七百二十七名で合計七百七十七名となつた、無競爭確定は江名町である、町村長選擧を今回行わない所は川部、田人、豊間、小名濱、湯本、草野、大浦、川前、江名の各町村で町村議選擧を行わぬ所は川部、赤井の二ケ村である、町村長最大の激戰地は入遠野村大野村の二つが四名づつ立候補、町村議は湯本の定員三十名に對する七十名が最も多い各町村別の町村長、町村議の立候補數は左の通り

町村長、町村議 定數

泉村	二	三〇（一二）	
渡邊村	三	一五（一二）	
植田町	二	二六（一二）	
山田村	一	一七（一二）	
錦町	一	一八（一二）	
上遠野	二	二六（一二）	
勿來町	二	三六（一二）	
四入遠野	一	一八（一二）	
田人村	二	一七（一二）	
夏井村	二	一八（一二）	
高久村	二	一九（一二）	
豊間町	二	二六（一二）	
江名町	二	一八（一二）	
小名濱	二	三八（一二）	
磐崎村	二	三二（一二）	
湯本町	七	〇（二）	
内郷町	三	五三（三〇）	
好間村	二	三八（一八）	
永戸村	三	二一（一六）	
澤渡村	一	三〇（一二）	
草野村		二五（一八）	
大浦村		二四（一二）	
四倉町	二	二七（一二）	
大野村	四	一七（一六）	
上小川村	三	二五（一六）	
下小川村		二〇（一六）	
川前村		二四（一六）	

合計四六、七七七（五八〇）

なお無競爭町村長は山田村、蛭田三郎（六〇）無所屬、錦町高木武一郎（五二）無所屬、澤渡村佐藤清司（六二）無所屬と決定した

△なお江名町議選の無競爭で當選したのは二十六名あてる

△市内舊城跡四〇番地學生一同日隔離された、二人とも武藤清吾（九）十一日發病し似疑赤痢と決定された

共産黨御家爭い

主流派側國際派を告訴沙汰

共産黨石城地區委員會内郷細胞主流派では同町無職細胞員須藤明男（三）氏を代表として内郷町長候補共産黨國際派佐々木巽及同町議候補八代一郎の兩氏を黨名詐稱の故を以て内郷町署に告訴した、なお主流派からは町議候補として松本佐吉氏が立候補している

濱三郡保健所長 二十六年度事務打合會

濱三郡保健所長會議は來る十六日午前十時から平保健所で二十六年度事務計畫、其の他について合せ會を開く

勿來町に腸チフス

△勿來町窪田字町通り七〇番地雜貨商篠田廣（二四）十一日發病診斷の結果腸チフスと決定十二日隔離された

保健婦さん 結核予防打合會

十八日午前九時から平市石城地區保健婦研究會で當面の結核予防對策傳達打合せを管内約三十名の保健婦が參集して協議する

花見もよそに競輪場え

三回スタート行先良好

櫻花散り菜の花の咲きほこる中に第三回平競輪の幕はおとされた、選擧も花見もよそにブアンは早くからつめかけて十四日午前十一時現在入場者總數七百三十四名、第一レース七萬一千五百圓、第二レース十一萬一千九百圓の賣上げて出足まづ好調、今回からは十二レースであり縣ダービーも含まれているのでお祭の人達がおしかけるだろう、賣上は三千萬圓はと競輪本部では張りきつている

道路上の泥酔男 御厩で轢かれる

湯本町天王崎矢内タクシー運轉手菊地喜四男（三五）は十三日午後十時半頃、同町鈴本の藝妓氏名不詳一名を乘せ平え向つた途中、内郷町御厩國道路上にさしかゝつた時、前方から電燈をつけて來た通行人を避けようとして同國道側に泥酔して寢ていた平市仲間町會社外交員卯月正明（三五）さんの頭部をひき卯月さんは即死

鈴木市長 候補の熱戰展開

各演説會場共滿員の盛況

連日舌戰を展開している鈴木辰三郎市長候補の政見發表演説は各會場共滿員の盛況を呈し市民に深い感銘をよそにブアンは早くからつめかけて十四日午前十一時現在入場者總數七百三十四名、第一レース七萬一千五百圓、第二レース十一萬一千九百圓の賣上げて出足まづ好調、今回からは十二レースであり縣ダービーも含まれているのでお祭の人達がおしかけるだろう、賣上は三千萬圓はと競輪本部では

唯七郎氏が好間村議時代から平市の上水道問題に關係を持つているだけに水道問題に關しては他の追隨を許さないものがあり聽衆の關心を高めている、尚十四日よりの日程及會場は次の通りで何れも午後七時から開演する

△十四日第一會場中平窪、松本金市郎氏宅、第二會場、上平窪公民館

△十五日第一會場南町、産婆學校、第二會場七丁目熱心湯、第三會場二目丁ヤンマー商會

△十六日第一會場久保町、泉藏院、第二會場堂ノ前鈴木源七宅、第三會場紺屋町、ミカサ食堂

るものがあり、更らに强口唯七郎氏が好間村議時代から平市の上水道問題に關係を持つているだけに水道問題に關しては他の追隨を許さないものがあり聽衆の關心を高めている、尚十四日よりの日程及會場は次の通りで何れも午後七時から開演する

△十四日第一會場中平窪、松本金市郎氏宅、第二會場、上平窪公民館

△十五日第一會場南町、産

美化運動實施 要項なる

平保健所主唱で

△十九日傳染病の予防對策徹底

△二十日DDT撒布

△二十一日屋内外整掃

△二十二日全面的美化を實施する

お醫者さんの自轉車盗まる

内郷町磐城共立病院醫師鈴木辰夫（三六）さんは十三日午後七時三十分頃同病院玄關においた中古自轉車一台時價八千圓相當を盜まれた

ミツ子さん御難 衣類五點盜まる

平市正月町五番地飲食業松崎ミツ子（三三）さん方では十三日午後八時頃居住内から衣類五點時價六千圓相當を盜まれた

湯本と平に赤痢

湯本町傾城四〇番地常磐炭礦採炭夫佐藤義男（二七）さんは十三日發病し同日隔離された

15日～21日迄
大映
三部作
割烹草
世界館
日本映畫が始めて描いた
八千萬人の家族を訪れる
大映ホームドラマの第一彈!!
主　水戸光子　三條美紀
演　宇佐美淳　伊庭輝夫
四才の名子役

16日～20日迄
他の色彩映畫を壓倒するこんな豪華なこんな面白い映畫は十年に一度しか訪れません!
總天然色映畫
ドンフアンの冒險
聚樂館
ウオーナーブラザース
主　エロールフリン
ヴイヴエカリンドフオース
演　ロバートダクラス
アラン ヘイル

昭和25年7月6日
(二) 第三種郵便物認可　昭和26年(1951)　磐城毎日新聞　4月15日（日曜日）第269號

小名濱町議

候補の横顔

長瀬啓一君 (6)

長瀬君は、野崎貞行君の縁弟であり、長瀬國三郎助役の家兄である、此の環境から名乘りを揚げたと云う、理由は一寸割り切れない立場から言えば兄弟で、理事者側にあるものも兄弟關係にある舊町村制などでは、或は抵觸事狀であつたかもしれないが改正地方制度では敢て構わないと云う處であろう、惡口議員の名のある某君は兩者當選はこれが却つて助役の命取りの原因となるかも知れぬと放言した果して然るか否は判からないがこの言葉も何を意味するかも判斷できぬがけだし助役である以上役場吏員中の有權者は助役のにらみで票數が移動する之れに依つて當選した後の祭りが一寸變推度出來ないと云う事の結論が出た、それも果して然りとせば助役たるもの力を一揆に試みようと、元町議であつた新平翁や善六翁や龜屋主人公などが、必死となつて擔ぎ出した、藝當か、長瀬君出馬の原因か其の眞相であると言うてよい閑話は休題として長瀬と云う人物は餘り世間的には噂も知れて居ないが、實は東京商業學校を卒業して商事會社や、軌道會社、漁業組合などで職を奉した前歷があり行く處として、可ならざるはない、殊に寡言實行の力量に富み、一度然諾を與えたる以上實行力の豊富な点は何人も企及し得ない今日は書籍、雜誌商として納つて居るが、博學の士で町議たる以上蘊蓄せる、其の抱負を惜まずに傾倒する開放的の人であると言われ當選は勿論上位であると噂されて居るのも其の通りであろう

×

常磐必死の工作なるか

湯の街郡下一亂立

温泉町として知られている湯本は一名また炭礦街の代表的なものの一つであるがこの湯本も山神祭と共に選擧戰今やたけなわである、町長は比佐前町長の急逝で松本現町長が二年の任期を殘しているので行われず、町議三十の椅子を目指して七十名の立候補者、當に亂立というべきが妥當、郡下は勿論縣下でもこれ程の亂立は珍しくテンヤワンヤである、前町議再出馬組は菅野四良(傾城)小野英二郎、(三函)志賀武義(淺貝)大橋正(三函)上川誠一(三函)谷田貝清治(龍ケ澤)馬目隆義(天王崎)高萩佐久馬(三函)高木寧男(塚の越)小井戸庄松(三函)高子與三郎(台ノ山)朝妻仲治(辰ノ口)飯島隆俊(辰ノ口)塚本中一(辰ノ口)の十四氏で元町議は鈴木稻美(笠井)矢內藤太郎(榮田)の二氏で計十六氏新人が壓倒的に多く常磐炭礦は二十二名の代表者を送り絶對多數の議席をねらいば町からは炭礦街の票をねらつてあの手この手をつくして喰い込む仕末今や亂戰にふさわし、激烈さを見せている、小井戸庄松(三函)石河傳吉(榮田)鈴木道太郎、(天王崎)の三氏は最强力候補でこれにつぐのは朝妻仲治(辰ノ口)橋本春吉(上關)青木安雄(三函)塚原中一(辰ノ口)角田保雄(榮田)の各氏が先づ有力、當落圈內にあると見られるのは鈴木稻美(笠井)矢吹五藤次(千代鶴)高木寧男(塚の越)內田軒治、(天王崎)上川誠一(三函)菅波正雄(三函)の各氏である、また共產黨からは大井川孝平、佐藤多美夫の兩氏で大井川氏は當落線上にあり佐藤氏は未知數、湯本町有權者總數約一萬四千四百の中常磐炭礦が八千五百をにぎり絶對多數の議席をねらつて猛運動中なるも、町側またそれではたまるものかと反擊各種の惡コンデイシヨンと戰いながら常磐炭礦の票をくわんと大童、櫻既に葉櫻に入るの感だが年中一度の山神祭と選擧戰で湯の街湯本はゴツタ返す、何につけても湯の街の悲歌のなからむ事を願ふのみ

飲んだ酒が仇になる

運ちやん青くなる

十二日午後七時頃平市四丁目平郵便局前で赤井村西小川常住炭礦工業所自家用トラック運轉手草野末男(三〇)さんが同四丁目某飲食店で自動車をおきばなしで花見がてらとばかりいい氣嫌になつて一パイやつているうちに突然トラックが天に宙いたか地に伏したか見いなくなり飲んだ酒も煙の如く消えて靑息といきで市署に屆出たが翌日の十三日午前十一時頃同運轉手草野さんが市署に訪れ昨日盜まれた自動車は同礦業所運轉手桐生牧太郎(六三)さんが草野が又一パイやつていては自動車を運轉出來ないだらうと思つて老婆心を起して無斷で運轉して行つたものである、笑へない春の櫻の花びらに乘つたナンセンスの一こまである

綴驛停車中掏る

岩手縣東岩井郡興田村字鳥海百五番地農業及川左工門(五一)さんは十四日午前七時五十七分平着常磐線下り列車綴停車中ズボン右側ポケツトから現金四千五百圓をスラれた

中堅農民講習會

年四十回開かる

神谷縣立園藝試驗場では第三回中堅農民講習會を毎月舊の一日と十五日行うが第一次は來る二十日、第二次は五日六日、第三次は五月廿日に行なはれる、この講習會は二十六年度に於て四十回行なはれるものであつて各石城郡、平市の市長村長の推薦による優秀なる青年を集めて開く、定員は各市町村共十名で全部で三百名である、課目は現代の農業改革、經營方法農村文化或いは農村經濟は如何にまかなはれなければならないかと云う樣な概要である、講師は當神谷試驗場共縣各課の農業技術に精通した技師、或いは篤農家によつてなされる

庶務部長會議

十六日に開く

消防協會支部の管下消防團庶務部長會議は十六日午後一時より武德殿で行われるはつだつだが變更されて平市役所で開らかれ、檢閱についての打合をする

郡山專賣

葉煙草收納十傑に

平管內で二名入る

專賣公社郡山地方局では管內の昭和二十五年度の葉煙草收納における最高成績をおさめた十傑を四月十日發表した、平出張所管內では遲く去る十一日ヤツト?すましたばかり、同候補降りしきる雨をまじ〳〵と見つめて曰く「僕は金がないからね、看板を出さぬと言つたんだよ、ところが皆がね看板を出さなきあ連絡するのに困ると言うんでね、その時そばに居た南町の川德さんが義憤を感じて俺が出してやろうと言つて寄附してくれたんでね」と川德さんの義憤がこゝで實を結ぶ或る日の山野邊候補の素描である

知事より糸姬表彰

片倉製糸工場で

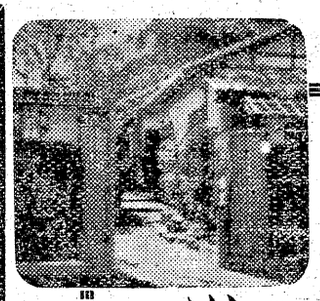
片倉製糸工場では常に從業員の敎養向上に全力を傾注しているが、片倉製糸所內に有る片倉學園卒業修了式に際して數多くの從業員を表彰した、卒業生二十九名を表彰特に優秀な生徒十名に對しては賞品を授與した同時に永年精勤者も表彰そのの內譯は左の通りである

七年勤務	四人	
六年勤務	四人	
五年勤務	二四人	
四年勤務	五四人	
三年勤務	三〇人	

又縣で行なつている縣產業五ケ年計畫の第四ケ年に當るので大竹縣知事よりその功をねぎらわれ四名が賞品賞狀を授與された

常磐炭礦に赤痢

湯本町水の谷宇龍ケ澤水野矢三十五番地常磐炭礦坑內夫加藤芳治(二四)さんは九日發病し十一日赤痢と決定同日隔離された



平の桃源境

翠の松に圍まれた靜かな部屋……

松ケ岡公園踏切先

溫泉旅館

古里

平市古鍛治町
電話五七七番

ツルヤの大サービス

春物一掃値下斷行

◀服地の部　サービス値▶

390圓 ⟶ 300圓
320圓 ⟶ 250圓

◀アンダーシヤツの部▶

430圓 ⟶ 300圓
480圓 ⟶ 380圓
550圓 ⟶ 480圓

◆この値この品

平市四丁目 ツルヤ洋品店 電一四〇

大衆食堂

みかさ

支那そば
ワンタン
なべ燒うどん
出前迅速

靜かな數寄屋風御座敷で一杯いかが……

平平紺屋町隣 文化

電四六五番